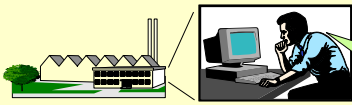


MZ(ものづくり)プラットフォーム開発の背景とニーズ

中小製造業のIT化の現状



社内IT化に悩む生産技術者

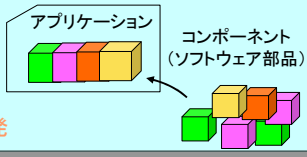
ー設計・製造業務のIT化を支援ー

- ✓ 自社専業業務ソフトを外注すると高い。
- ✓ 市販ソフトも高いし、自社業務に合わせられない。
- ✓ 自社でソフトを開発するのも難しい。

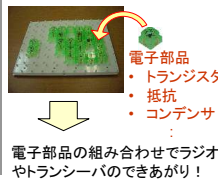
MZプラットフォーム(MZPF)

プログラムを書かず、コンポーネントを組み合わせるだけでソフト作成！

- ✓ プログラムの知識不要
- ✓ 業務知識のみによるシステム開発



基本的な考え方は電子ブロックと同じ



電子部品の組み合わせでラジオやトランシーバのできあがり！

- ✓ ソフト開発工数の削減
- ✓ 自社によるソフト開発・修正・保守

自社に合ったIT化の
安価・短期間での実現！

MZPFの目的・特徴・成果・波及効果

【目的】

産業技術の持続的発展の基盤であり、重要な担い手である製造業の国際競争力・経営体質強化の「ものづくり」を支援します。

【特徴】

1. コンポーネント(ソフトウェア部品)組合せ方式によるアプリケーション開発のため、ソフトウェア専門家でない製造業の現場実務精通者が講習会での学習とMZPFサポーター(育成ソフトベンダー)のサポートにより短工期・低コストで生産管理システムの構築が可能であり、さらに自社独力で改造や他工程/他工場への導入拡大が可能な画期的なIT化ツールです。
2. MZPFソフトウェアは年会費1,000円で入手でき、製造業が自社独力で時間を掛けてIT化する場合の最少対外支払費が年会費(1,000円)・無料講習(つくば)・研修費(25,000円/月)・滞在費(宿泊1,700円/日、交通費・食費は別)でIT化可能な画期的なIT化ツールです。



【成果 実績】

「リアルタイム化」「見える化」による「生きたIT化」実現

【波及効果 実績】

- 地域産業振興(ハード産業とソフト産業)
- 人材/承継者の育成・社員の意識革命

MZPFで何が出来る？

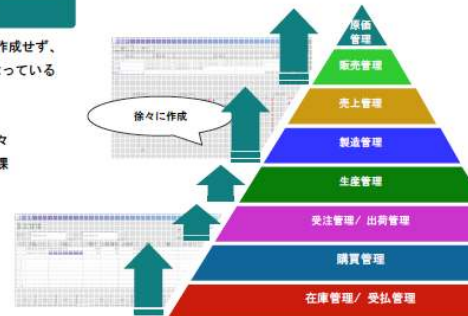
・ものづくり現場における多様なニーズに対応可能

製品・技術情報管理、工程管理、機器制御

MZプラットフォーム システム構築の極意

いきなり全機能を網羅するようなシステムを作成せず、今 何が課題かを十分検討し、その一番課題となっている所から構築していくことをお勧め致します。

MZプラットフォームは生産管理に限らず様々な管理システムを構築することができ、自社の課題を1つ1つ解決するような機能を増やしオリジナルの基幹システムを作り上げることが可能です。



導入事例: 製造原価管理システム

ー金型製造企業(佐賀県: 聖徳ゼロテック株式会社)ー

導入支援体制

- ・ 佐賀県工業技術センター、ソフトウェアベンダーによるサポート
- ・ 産総研(茨城)での技術研修1ヶ月

システム構成要素

- ・ MZプラットフォーム(システム開発ツール)
- ・ MySQL(無償データベース)

パッケージソフトから
自社開発システムへ

加工時間の正確な把握による
原価管理の高精度化

既存システム(パッケージソフト)

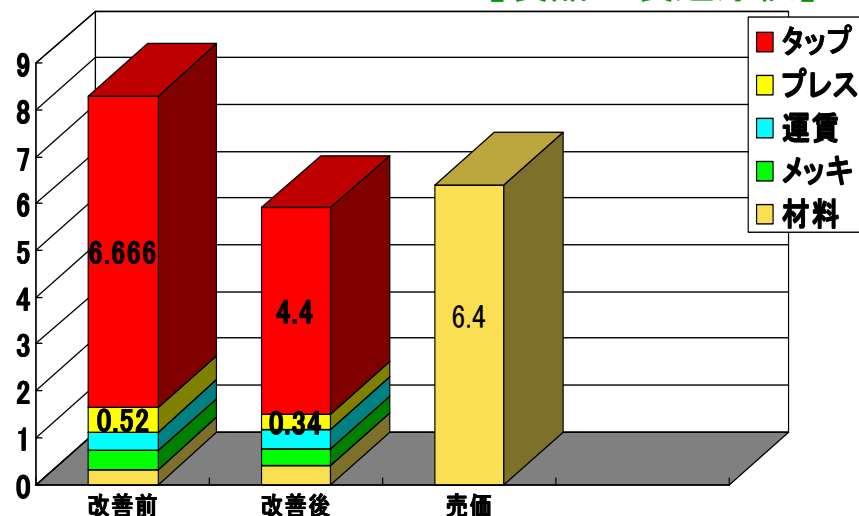
- ・ 不正確なデータ登録(日報の手入力)
- ・ 低い処理能力(システムの老朽化)
- ・ 困難な機能改善(外注費の発生)

全社員によるリアルタイムの情報共有
→ 原価意識・利益意識の向上!
システムに対する現場要望の即時反映
→ 機能改善・活用意欲の向上!

平成20年度 九州経済産業局IT経営力特別賞受賞

平成22年度 経済産業省IT経営実践認定企業(全国100社の1社)

【リアルタイム化・見える化の改善事例】 【製品B 製造原価】



独立行政法人 産業技術総合研究所

5

【MZPF導入実績効果】

生産日報入力のリアルタイム化

- 1: 入力ミス・忘れ‘0’による工数精度の向上
- 2: 日報入力時間の削減

製造原価のリアルタイム化・高精度化で生きたIT実現

- 1: 製品・部品毎の原価がリアルタイムで見える
- 2: 各工程毎の原価がリアルタイムで見える

MZPFによりIT化対外構築費・保守費は‘0’円

社員の意識革命 (原価意識・利益意識)

- 1: MZPFによる情報の透明化・共有化
- 2: 現場作業者のMZPF愛着活用

独立行政法人 産業技術総合研究所

6

MZPF導入先進モデル企業での説明会

- 佐賀市 聖徳ゼロテック社の先進的取組みを社長・副社長自ら説明
- 九州7県16社の経営者が聖徳ゼロテック社を訪問し、MZPF導入を決定



MZPF導入状況の説明

製造現場でのMZPF活用状況説明

H22.9.15 産総研2年目職員研修における説明

独立行政法人 産業技術総合研究所

7

九州・沖縄地域におけるMZPF導入実績

製造業への導入状況(平成23年8月現在)[全国]

- MZプラットフォーム研究会会員企業数:130 [390]
- システム運用中:16社 [20社]
- システム構築中:15社 [15社]
- システム導入決定:9社 [9社]

ソフトウェアベンダーへの技術移転

(商用ライセンス契約の締結)

- 契約締結済ベンダー(MZPFサポーター):7社 [12社]

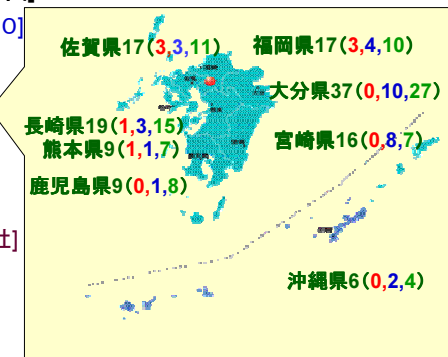
【九州経済産業局IT経営力大賞特別賞】

3年連続受賞

H19年度:大分県1社[大川金型設計事務所]

H20年度:佐賀県1社[聖徳ゼロテック株式会社]

H21年度:長崎県1社[滲透工業株式会社]



会員企業合計(ビジネス導入, ケーススタディ導入, 研究会会員)

【経済産業省 IT経営実践認定企業 [全国100社の1社]】

H21年度:長崎県1社[滲透工業株式会社]

H22年度:佐賀県1社[聖徳ゼロテック株式会社]

問合せ先:

独立行政法人 産業技術総合研究所

イノベーションコーディネータ 吉田重治 092-282-0283

独立行政法人 産業技術総合研究所

8